

水稻生育速報

令和2年7月15日
長岡農業普及指導センター

生育状況（7月15日現在）

コシヒカリ定点調査ほの生育（管内7か所平均）

草丈： 77 cm （指標値比 106 % = やや長い）
茎数： 457 本/m² （指標値比 109 % = やや多い）
葉数： 12.3 葉 （指標値差 +1.1 葉 = 早い）
葉色： 37.2 (SPAD) （指標値差 +2.3 = 濃い）

- 草丈は、前回調査（7/8）より9cm長くなり、指標値比で「並み」から「やや長い」になった。
- 葉色は、前回調査より淡くなった（-1.2）ものの、依然として指標値より濃い（+2.3）。
- 幼穂形成期以降、幼穂の伸びが鈍くなっており、1回目穂肥の適期が遅れている。

今後の管理 ～1回目の穂肥施用に慎重な判断が必要～

1 コシヒカリの1回目の穂肥

- （1）指標値より葉色が濃いほ場が目立っている。葉色が濃く、草丈の長いほ場や茎数が多いほ場では、倒伏や籾数過剰が懸念されるため、遅め控えめの施用にするなど慎重に判断する。
- （2）葉色が指標値並で、まだ1回目の穂肥を施用していないほ場は、幼穂長が1cmになったことを確認してから施用する。

2 葉いもち防除

葉いもちの発生が各地で確認されている。早期発見に努め、発生を確認したらただちに防除を実施する（コシヒカリBLで少発生の場合は除く）。

3 斑点米カメムシ類防除

令和2年6月30日にカメムシ類による斑点米の発生に関する注意報が発表された。イネ科雑草が出穂・結実しないよう農道・畦畔の除草を徹底し、水田内雑草を早めに除去する。

- 農作業事故に注意しましょう。特に草刈り作業は周囲に気を配ってください。
- 農作業時の熱中症に注意をしましょう。こまめな休憩と水分補給が大切です。

定点調査ほ場生育調査結果(令和2年7月15日現在)

※指標値は5月10日移植を想定。

品種	地点名	移植日	草丈		茎数		葉数		葉色 (SPAD値)		幼穂形成期 (予測含む)
			本年 (cm)	指標比	本年 (本/m ²)	指標比	本年 (葉)	指標差	本年	指標差	
コシヒカリ	長岡市乙吉町	5/13	76	104%	456	111%	12.0	0.7	35.9	1.9	7/13
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/17	73	99%	553	146%	11.8	0.9	35.5	0.5	7/17
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/13	85	113%	471	110%	13.9	2.8	43.1	8.1	7/10
	長岡市岩田 (越路地域)	5/9	81	111%	430	100%	12.7	1.4	37.9	2.9	7/12
	長岡市寺泊京ヶ入 (寺泊地域)	5/18	74	102%	407	95%	11.4	0.1	35.7	0.7	7/20
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/6	72	99%	426	99%	12.0	0.7	33.6	-0.9	7/10
	小千谷市鴻巣	5/14	80	111%	458	109%	12.3	1.3	38.6	3.1	7/10
コシヒカリ 平均		5/12	77	106%	457	109%	12.3	1.1	37.2	2.3	7/13
※ 平場コシ平均		5/11	76	104%	430	101%	12.0	0.7	35.8	1.2	7/13
※ 中山間コシ平均		5/14	79	108%	494	120%	12.7	1.7	39.1	3.9	7/12

平場コシ:長岡市乙吉、長岡市岩田、長岡市寺泊、長岡市中条北の4か所(それ以外を中山間地コシに分類)。

※ 7/15指標値は7/10および7/20の値より算出